

ノーリツ、日本食に関する意識調査 世界に誇る伝統食「おふくろの味」おみそ汁を後世に 作り方よりも和の心、礼儀作法を継承

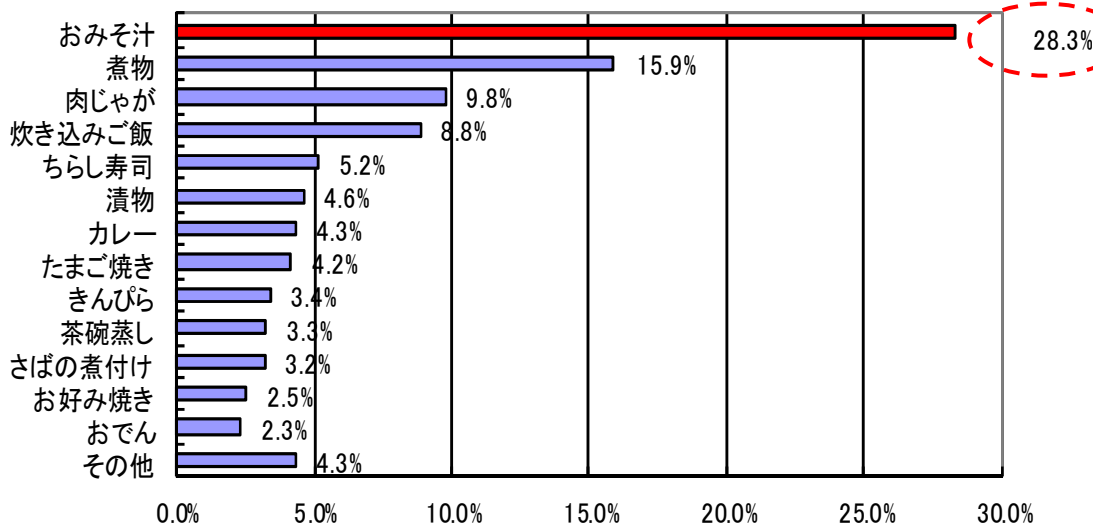
湯まわり設備メーカーの(株)ノーリツ(本社:神戸市、代表取締役社長:國井総一郎、資本金 201 億円、東証一部上場)は、全国の当社製品ユーザーを対象に、東日本大震災を機に改めて家族の絆の大切さが見直され関心の高まっている3世帯需要も意識しながら、日本食について意識調査を行いました。有効回答数は1,415人です。

《調査の結果ハイライト》

■子ども(孫)世代に継承したいのはおみそ汁

あなたが子ども(孫)世代に最も継承したい家庭料理はと尋ねたところ、おみそ汁が全体の約3割近くを占めトップになりました。家庭の味の中でおみそ汁が大きな役割を占めていることがわかります。また、煮物が15.9%、肉じゃがが9.8%と続きました。(n=1,415)

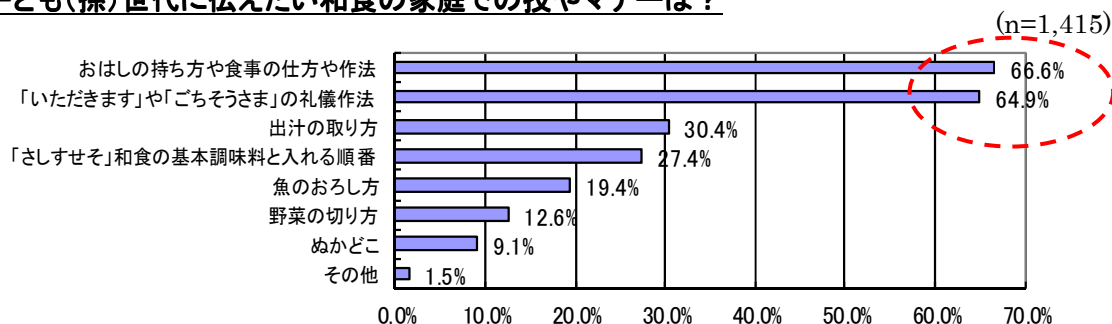
・あなたが子ども(孫)世代に最も継承したい家庭料理は？



■子どもや孫に伝えたいのは礼儀作法

あなたが子ども(孫)世代に伝えたい和食の家庭での技やマナーを尋ねたところ、おはしの持ち方や食事の仕方や作法、「いただきます」や「ごちそうさま」の礼儀作法がそれぞれ66.6%、64.9%となりました。食事の作り方などの実践的な技よりもマナー、礼儀作法を重視している姿が読み取れます。

・子ども(孫)世代に伝えたい和食の家庭での技やマナーは？



調査概要

● 調査目的

日本食について、3世代需要にも留意しながら意識調査をする。

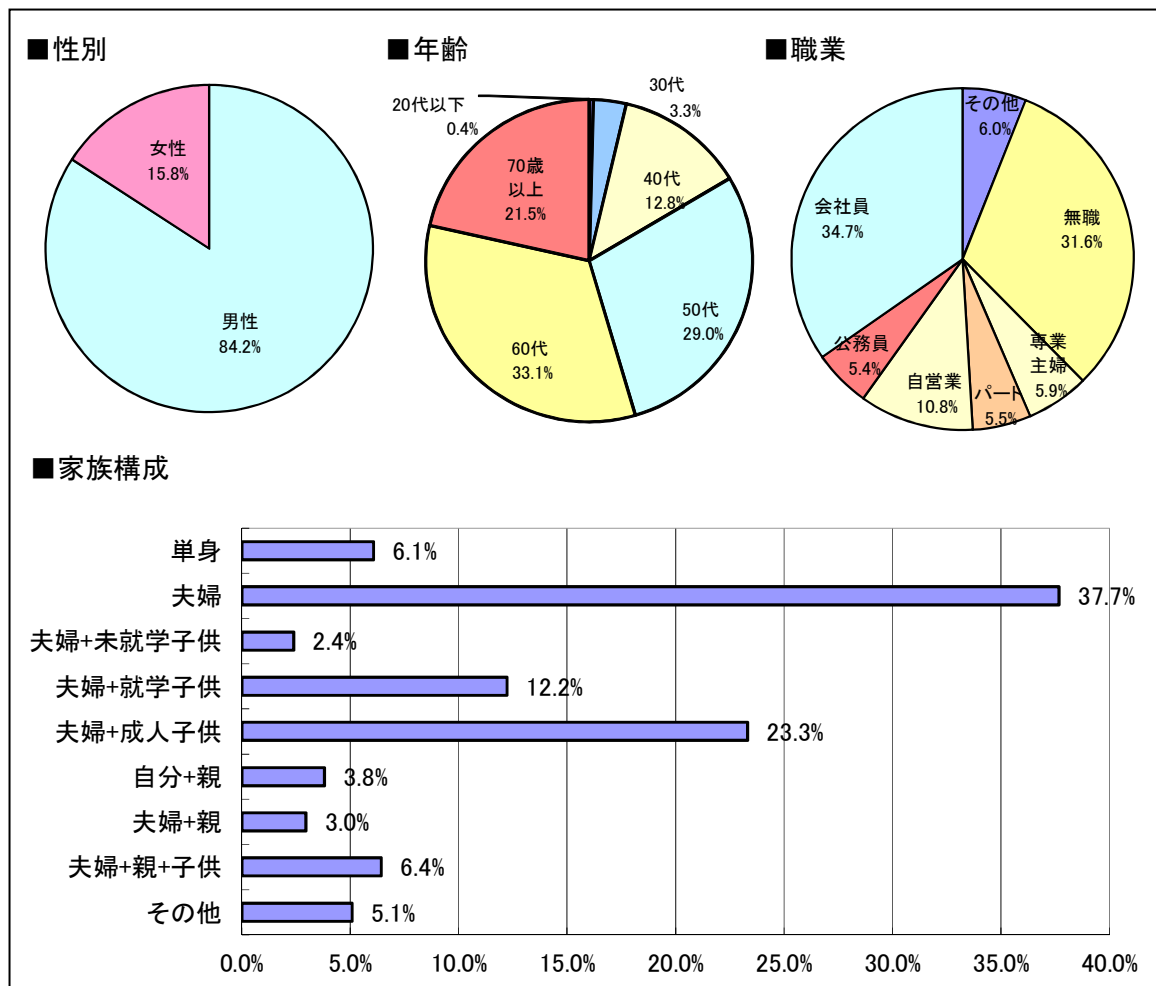
● 調査方法

WEBアンケート

● 調査対象

ノーリツインターネットサイト「CLUB NORITZ (クラブノーリツ)」会員

● 回答者の構成 (n=1,415)



● 調査エリア

全国

● 調査期間

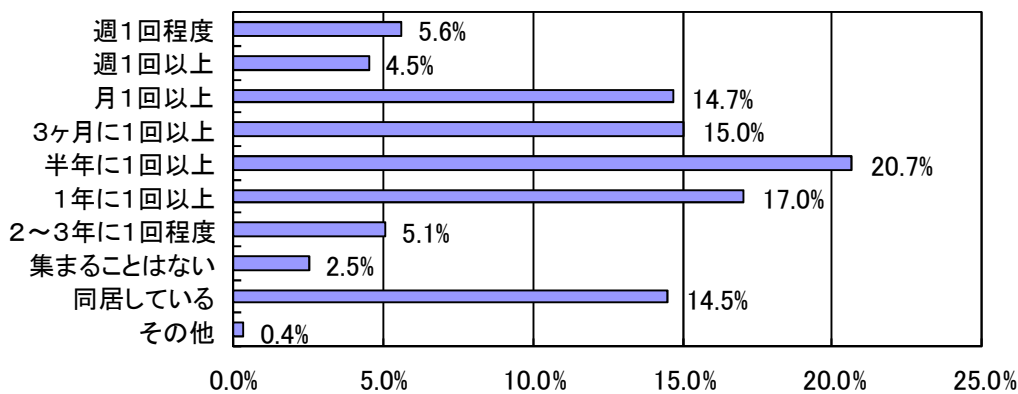
2015年2月27日～3月2日

■少なくとも半年に1回以上集まっている3世代家族が60%以上に

東日本大震災を機に改めて家族の絆の大切さが見直され関心の高まっている「3世代」をテーマに聞きました。3世代以上の家族の人に一緒に家族が集まる頻度を尋ねると半年に1回以上が20.7%と一番多い回答になりました。しかし、他の回答も多く、家族の在り方が多様な形であることがわかります。ただ、週1回程度から半年に1回以上までの回答を足すと60.5%と6割以上に及ぶなど、ある程度の頻度で集まっている人が多い結果になりました。3年ほど前と比べて家族で集まる頻度は増えているか尋ねると、変わらないが54.2%と大多数でした。「少し減った」、「減った」を足した回答が、「少し増えた」「増えた」を足した回答より若干多かったものの、「増えた」との回答も9.9%を占めており、全体的には大きな変化が見られませんでした。

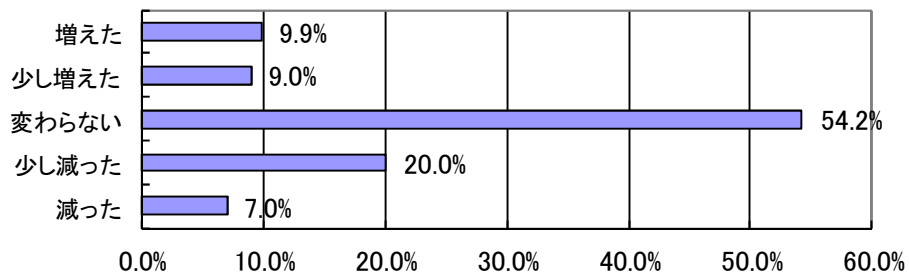
・3世代以上で一緒に家族が集まるのはどのくらいの頻度ですか？

(n=552)



・3年ほど前と比べて家族で集まる頻度は増えていますか？

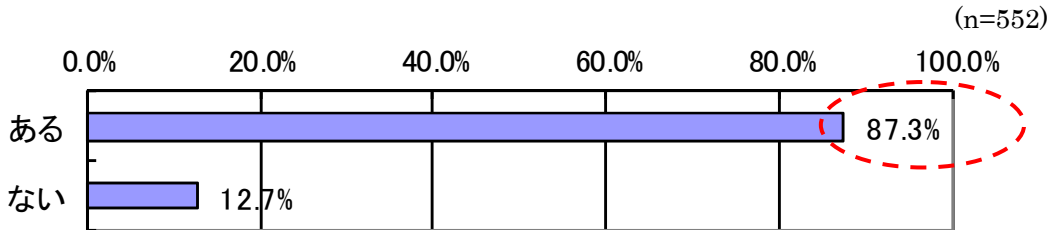
(n=345)



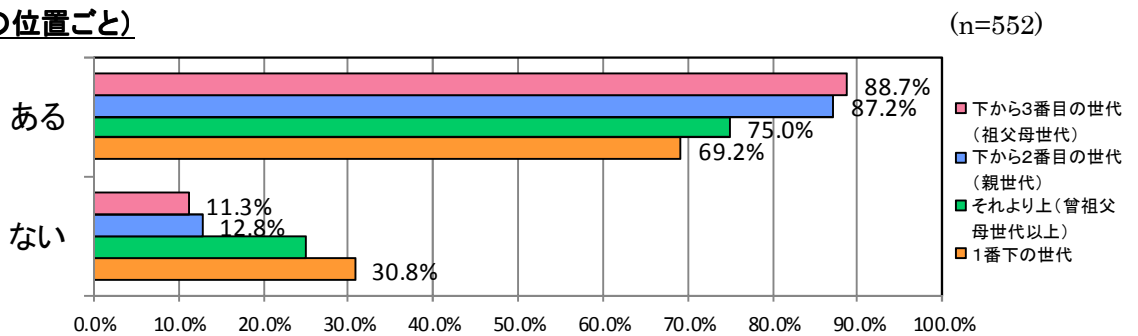
■3世代で食べに行くのは67.5%が和食

3世代以上での外食経験については87.3%の人が「ある」と回答。多くの人が家族みんなで外食を楽しんでいるようです。世代ごとに分けると、上の世代ほど出かけたことが多く、祖父母世代と一番下の世代では20ポイント近い差が見られました。また、頻度を尋ねると、半年に1回以上が27.3%と一番多い結果になりました。少なくとも1年に1度は3世代以上で外食に行く人は87.5%と大多数を占めました。また、「週1回程度」「週1回以上」という回答はそれぞれ1.7%、0.2%と高い頻度での3世代以上での外食をする人は少数でした。3世代以上で集まった時によく食べる料理では、3分の2を超す67.5%が「和食」と答え、圧倒的な支持を獲得しました。

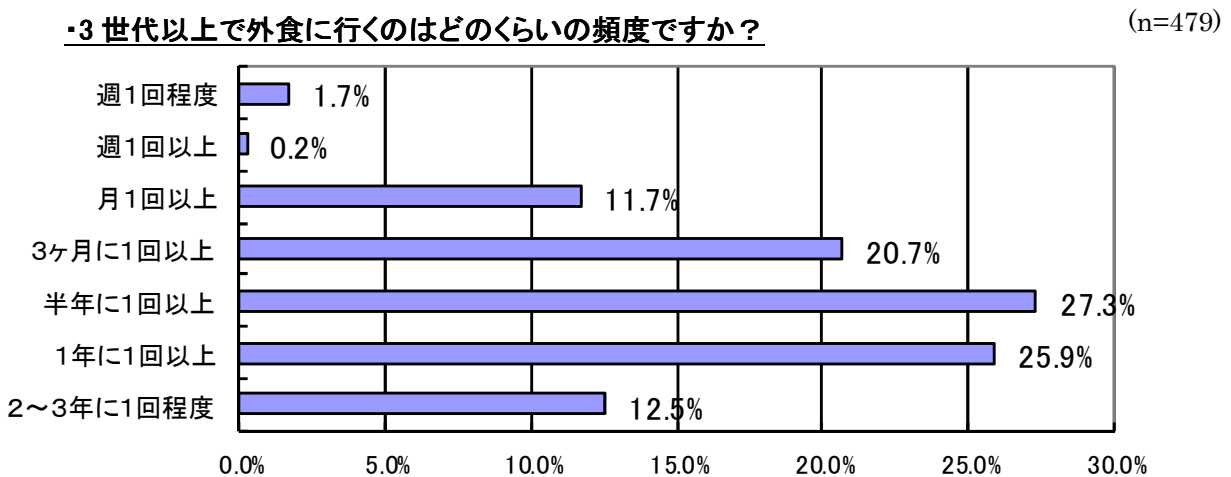
・3世代以上で外食に行ったことはありますか？



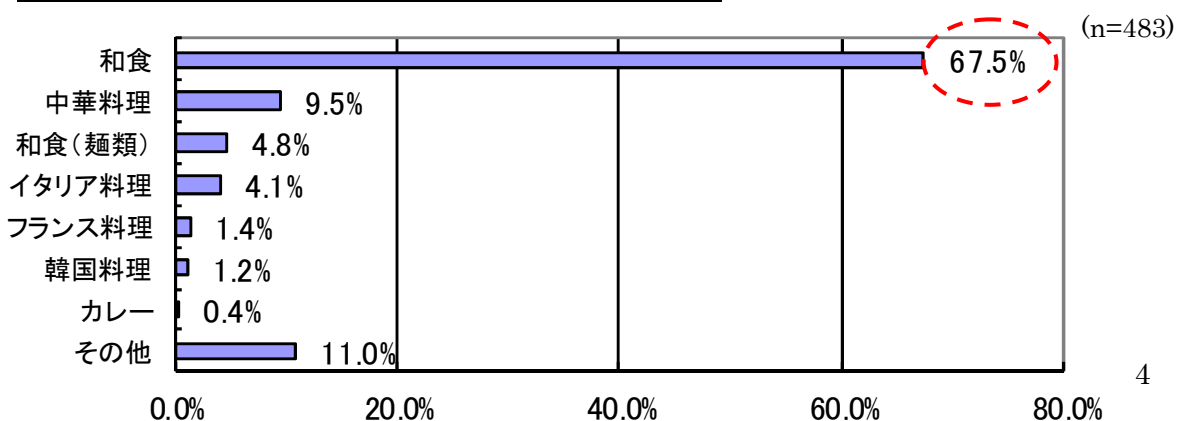
(3世代の位置ごと)



・3世代以上で外食に行くのはどのくらいの頻度ですか？



・3世代以上で集まった時によく食べる料理は何ですか？

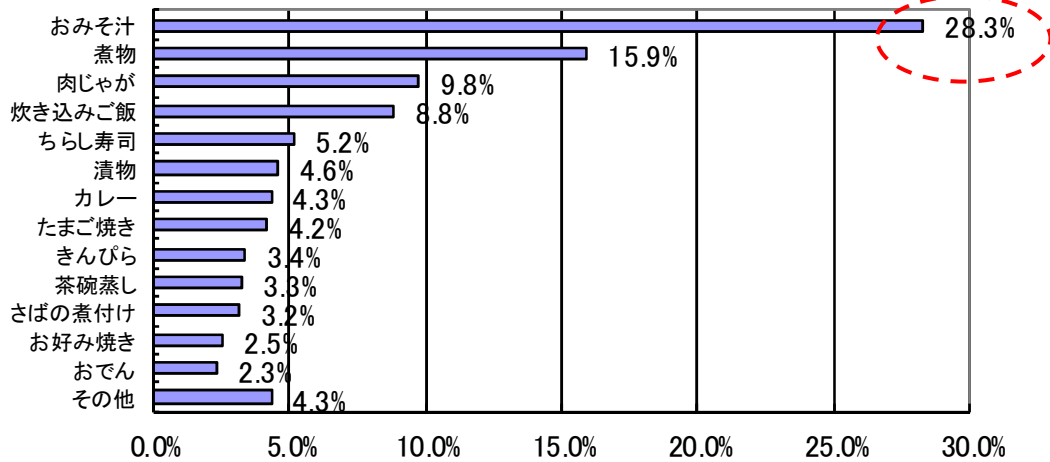


■両親から受け継いだ料理と子どもに伝えていきたい料理が近い結果に

家族から教えてもらった、あるいは教えてあげたい家庭料理について尋ねました。子ども(孫)世代に継承したい家庭料理は「おみそ汁」が28.3%とトップに。ついで「煮物」、「肉じゃが」という順番になりました。年代別に分けると、おみそ汁と答えた人が50代以下が60代以上より12.9ポイント上回り、反対に煮物では7.7ポイント下回る結果になりました。年代による意識の差が読み取れます。次に両親や祖父母から伝えてもらった一番の家庭料理について尋ねたところ、先と同様に、おみそ汁が23.1%で1位、煮物が2位という結果。全体的には両親から受け継いだ料理を子どもや孫に受け継いでもらいたいと願う気持ちを読み取れます。

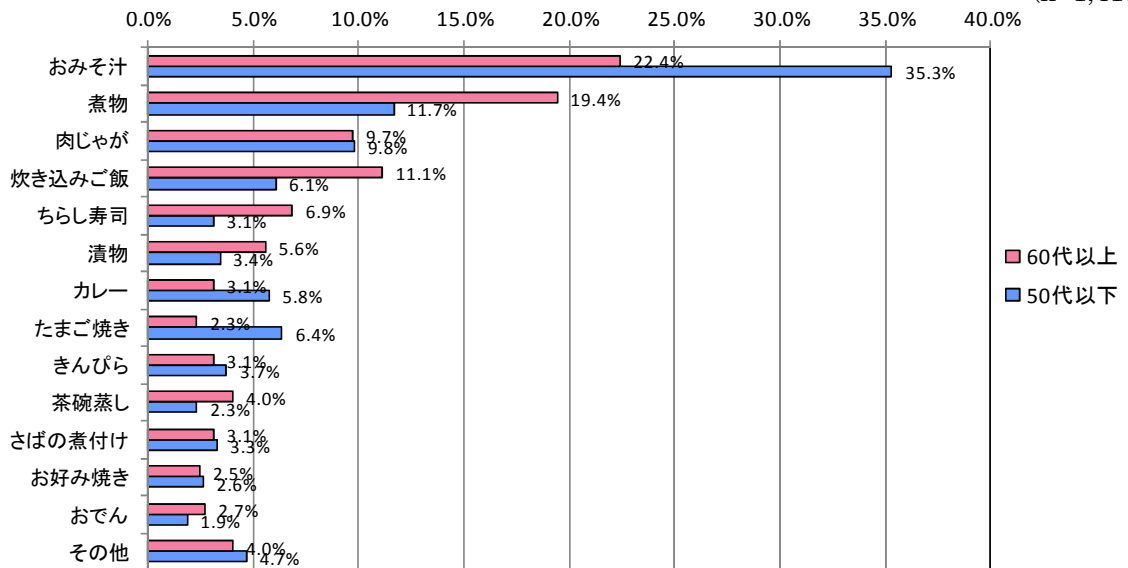
・あなたが子ども(孫)世代に最も継承したい家庭料理は？

(n=1,415)



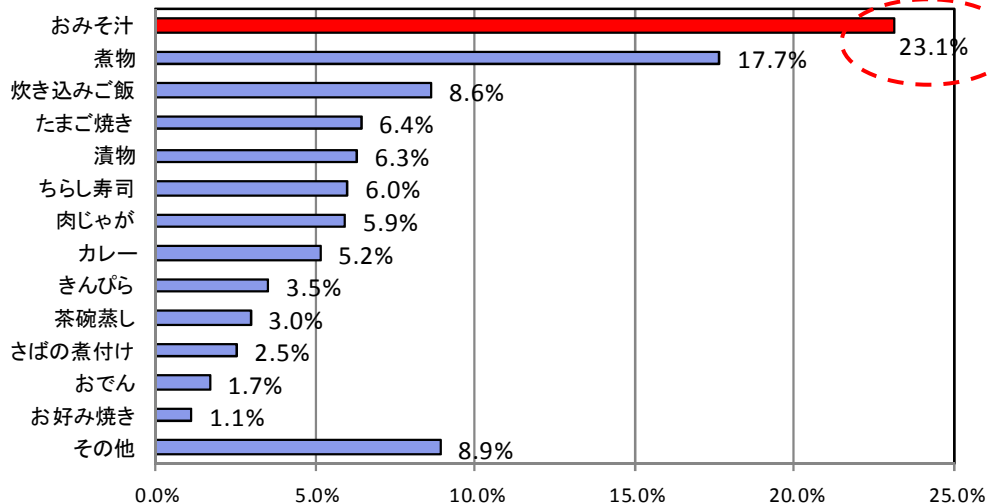
(年代別)

(n=1,415)



・あなたが両親や祖父母から伝えてもらった一番の家庭料理は？

(n=1,415)

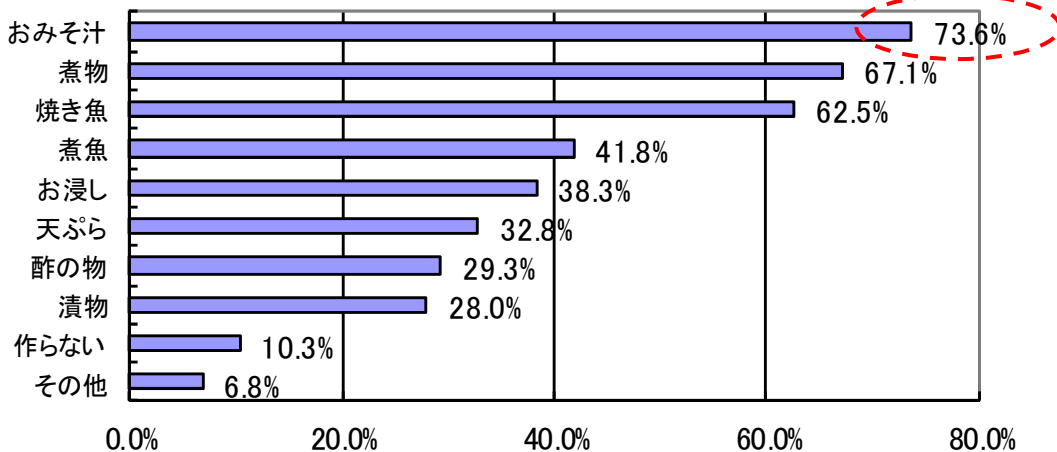


■子どもや孫に伝えたいのは礼儀作法

子供や配偶者に日常的に作っている和食について尋ねました。おみそ汁が73.6%とトップで、煮物が67.1%と続きました。先の結果に続き、おみそ汁が生活の奥深くまで浸透していることがわかります。年代別に分けると年齢層が上になるほど和食を作る機会が多いことがわかりました。また、子ども(孫)世代に伝えたい和食の家庭での技やマナーを尋ねたところ、おはしの持ち方や食事の仕方や作法、「いただきます」や「ごちそうさま」の礼儀作法がそれぞれ66.6%、64.9%となり、礼儀作法を重視している姿が読み取れます。

・あなたや配偶者が子ども(孫)に日常的に作っている和食は何ですか？

(n=1,163)



(年代別)

(n=1,415)

